

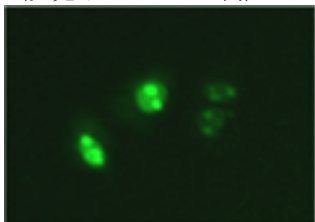
- iPS/再生医療 -

iPS細胞、ES細胞、体性幹細胞を利用した再生医療の期待が膨らんでいます。しかし、実用化に至る道のりの中で、研究しなければ分からない部分もまだ多く残されています。

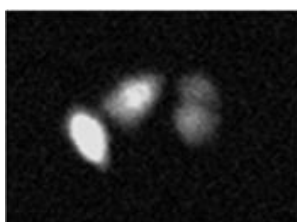
この再生医療研究のイメージングのトレンドを、最新の顕微鏡システムを用いたタイムラプスおよび発光イメージングの視点から、実際のアプリケーションと共にご紹介いたします。

- ・日時： 10月16日（木曜日）17:00 – 18:00
- ・場所： 香川大学医学部附属病院 検査部 技師室
- ・講師： オリンプス株式会社
サイエンスソリューションカンパニー 事業統括本部
小島 清嗣
- ・内容： 1. iPS/再生医療研究におけるイメージングのトレンド
2. 幹細胞生理状態の可視化
3. 光応答性転写因子hGAVPOによるAscl1ルシフェラーゼの発現コントロール
4. フィルムボトムディッシュの紹介

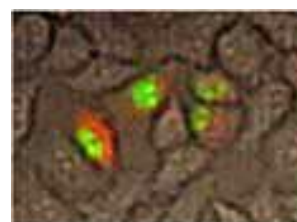
(発光イメージング例)



核局在GFP



細胞質内ルシフェラーゼ



明視野画像との重ね合わせ
(ルシフェラーゼを赤で表示)

共催 オリンプス株式会社

共催 四国医療器株式会社

お問合せ：先端医療開発センター（内線：3666）